## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

株式会社プラコー 上場会社名

上場取引所

東

コード番号 6347

URL http://www.placo.co.jp/

表 者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古野 孝志 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部部長(氏名) 早川 恵

(TEL) 048-798-0222

半期報告書提出予定日

2025年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無

:無

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	- 売上高	<u>.</u>	営業利	益	経常利	l益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	988	_	△25	_	△18	_	△45	_
2025年3月期中間期		_	_	_	_	_		_
(注) 与任刊 2000年 0	O #0 -L 88 #0	A 20 <del>-</del>	<del>-</del> m/	0/\ 00/		88 <del>V</del> O		0()

(注)包括利益 2026年3月期中間期 △38百万円( —%) 2025年3月期中間期 —百万円( **--%**)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	△4. 81	_
2025年3月期中間期	_	_

<sup>(</sup>注)当社グループは、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第2四半 期(中間期)の数値及び対前年同四半期(中間期)増減率を記載しておりません。

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2, 884	1, 488	51. 6
2025年3月期	3, 052	1, 584	51.8

<sup>(</sup>参考)自己資本 2026年3月期中間期 1,487百万円 2025年3月期 1,582百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円 銭	円銭	円銭	円銭	
2025年3月期	_	0.00	_	6.00	6.00	
2026年3月期	_	0.00				
2026年3月期(予想)			_	6. 00	6. 00	

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円 2,800	% —	百万円 150	% —	百万円 150	% —	百万円 100	% —	円 11	銭 . 18		

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

<sup>(</sup>注) 当社グループは、2025年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率の記載はしており ません。

### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

## (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	10, 045, 544株	2025年3月期	10, 045, 544株
2026年3月期中間期	663, 134株	2025年3月期	632, 155株
2026年3月期中間期	9, 383, 490株	2025年3月期中間期	8, 784, 365株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する第	定性的情報	2
(1)経営成績に関する記	说明	2
(2) 財政状態に関する詞	説明	3
(3) 連結業績予想などの	の将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び	主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照	表	4
(2) 中間連結損益計算	書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシ	ュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に	に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関	する注記)	9
(株主資本の金額に著)	しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)		9

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の通商政策、中国経済の減速などにより景気の下振れリスクが懸念され、国内においては、円安や物価上昇の継続等による樹脂原材料価格の高騰、鉄鋼等材料価格上昇、資材輸入価格の上昇等の影響など、依然として見通しにくい経営環境が続いています。

当社グループが関係するプラスチック加工業界は、製造コストの増加により設備投資については慎重感が強く、 今後益々の合理化を進め、競争力を高めなければならない状況にあり、当社としても更に省エネルギー、省力化の 製品、高機能成形機の開発を提案し、受注拡大を進めていく状況にあります。

このような状況下、当中間連結会計期間のプラスチック成形機事業につきましては、受注低迷及び客先設備投資の影響を受けました。当中間連結会計期間の売上高はインフレーション成形機事業、ブロー成形機事業、リサイクル装置事業全体で予定しておりました成形機及び部品等の売上計上は進みましたが、全体としては低迷しました。メンテナンス事業は、顧客の既存成形機のメンテナンス、オーバーホール等の工事が順調に推移し、予定どおりに売上計上が進みました。システム開発事業は、当初の予定通りの売上計上となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高9億8千8百万円、利益面につきましては、営業損失2 千5百万円、経常損失1千8百万円、親会社株主に帰属する中間純損失につきましては、4千5百万円となりました。

セグメント毎の営業概要は次のとおりであります。

#### (プラスチック成形機事業)

#### [インフレーション成形機事業]

インフレーション成形機事業につきましては、予定されていた成形機の売上計上となりました。 この結果、売上高は3億4千1百万円となりました。

### 「ブロー成形機事業]

ブロー成形機事業につきましては、予定されていた成形機の売上計上となりました。 この結果、売上高は2億3千3百万円となりました。

#### 「リサイクル装置事業】

リサイクル装置事業につきましては、大型リサイクル機の受注がなく、部品等の売上にとどまりました。 この結果、売上高は1千9百万円となりました。

### 「メンテナンス事業〕

メンテナンス事業につきましては、顧客の既存成形機のメンテナンス、オーバーホール等の工事が順調に推移 し、予定どおりの売上計上となりました。

この結果、売上高は1億9千6百万円となりました。

#### (システム開発事業)

システム開発事業は、コンピューターシステム受託開発及びSE人材派遣事業が順調に推移し、予定どおり売上計上が進みました。

この結果、売上高は1億9千6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億6千8百万円減少し、28億8千4百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億9百万円、製品が1億5百万円、仕掛品が5千9百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1億8千5百万円、電子記録債権が2億8百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前会計年度末と比較して7千3百万円減少し、13億9 千5百万円となりました。これは主に前受金が2 千7百万円、賞与引当金が1 千5百万円増加した一方で、借入金が9 千5百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前会計年度末と比較して9千5百万円減少し、14億8千8百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が6百万円増加した一方で、配当金の支払額5千6百万円と親会社株主に帰属する中間純損失4千5百万円を計上したことによるものです。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2025年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。 なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

# 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 142, 526	1, 252, 392
受取手形、売掛金及び契約資産	451, 348	266, 109
電子記録債権	369, 642	161, 639
製品	20, 670	126, 249
仕掛品	158, 105	217, 295
原材料及び貯蔵品	67, 862	57, 312
その他	62, 546	64, 491
流動資産合計	2, 272, 702	2, 145, 490
固定資産		
有形固定資産		
土地	268, 000	268, 000
その他(純額)	297, 428	276, 189
有形固定資産合計	565, 428	544, 189
無形固定資産		
のれん	97, 258	96, 983
その他	4, 051	3, 013
無形固定資産合計	101, 310	99, 997
投資その他の資産		
その他	221, 487	204, 436
貸倒引当金	△108, 197	△109, 882
投資その他の資産合計	113, 290	94, 554
固定資産合計	780, 029	738, 741
資産合計	3, 052, 731	2, 884, 231
負債の部		
流動負債		
買掛金	80, 222	85, 192
短期借入金	190, 836	640, 836
前受金	58, 208	85, 640
製品保証引当金	8, 645	7, 821
賞与引当金	19, 336	35, 144
その他	108, 965	83, 863
流動負債合計	466, 213	938, 497
固定負債		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
長期借入金	910, 375	364, 957
退職給付に係る負債	20, 167	20, 955
その他	71, 952	70, 902
固定負債合計	1, 002, 494	456, 814
負債合計	1, 468, 707	1, 395, 312

	111			-	-		1	
- (	単	17	٠	_	-	Щ	١)	
١.	-	1/.						

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	819, 735	819, 735
資本剰余金	427, 554	427, 554
利益剰余金	452, 988	351, 405
自己株式	△219, 426	△219, 450
株主資本合計	1, 480, 852	1, 379, 245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8, 498	15, 000
土地再評価差額金	93, 430	93, 430
その他の包括利益累計額合計	101, 929	108, 431
新株予約権	1, 242	1, 242
純資産合計	1, 584, 023	1, 488, 918
負債純資産合計	3, 052, 731	2, 884, 231

# (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

	(単位:千円)_
	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	988, 234
売上原価	679, 767
売上総利益	308, 467
販売費及び一般管理費	334, 180
営業損失(△)	△25, 712
営業外収益	
受取保険金	6, 188
助成金収入	4, 081
その他	5, 258
営業外収益合計	15, 528
営業外費用	
支払利息	7, 670
その他	674
営業外費用合計	8, 345
経常損失(△)	△18, 529
税金等調整前中間純損失(△)	△18, 529
法人税、住民税及び事業税	4, 454
法人税等調整額	22, 120
法人税等合計	26, 575
中間純損失(△)	△45, 104
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△45, 104

## 中間連結包括利益計算書

	(単位:千円)_
	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△45, 104
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6, 502
その他の包括利益合計	6, 502
中間包括利益	△38, 602
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△38, 602

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(3) 中国連結イヤッシュ・ノロー司 昇音	(単位:千円)
	当中間連結会計期間
	(自 2025年4月1日
営業活動によるキャッシュ・フロー	至 2025年9月30日)
	A 10 E90
税金等調整前中間純損失 (△)	△18, 529
減価償却費	28, 640
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1, 685
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	788
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△824
賞与引当金の増減額(△は減少)	15, 808
受取利息及び受取配当金	△1, 170
支払利息	7, 670
売上債権の増減額(△は増加)	393, 242
棚卸資産の増減額(△は増加)	△154, 218
前渡金の増減額(△は増加)	△38, 999
仕入債務の増減額(△は減少)	4, 969
前受金の増減額(△は減少)	27, 432
未払金の増減額(△は減少)	4, 251
未払消費税等の増減額(△は減少)	$\triangle 3,774$
その他	48, 875
小計	315, 845
利息及び配当金の受取額	1, 170
利息の支払額	△14, 361
法人税等の支払額	△26, 588
営業活動によるキャッシュ・フロー	276, 066
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	△8,800
有形固定資産の取得による支出	△1, 436
投資有価証券の取得による支出	△604
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△5, 094
その他	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15, 927
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000
長期借入金の返済による支出	△545, 418
自己株式の取得による支出	△23
配当金の支払額	△56, 640
その他	△6, 990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159, 072
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	101, 066
現金及び現金同等物の期首残高	1, 041, 326
現金及び現金同等物の中間期末残高	1, 142, 392
ATTENDED TO THE PROPERTY OF TH	1, 112, 002

#### (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

#### 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	56, 478	6.00	2025年 3月31日	2025年 6月27日

#### 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計
	プラスチック 成形機事業	システム 開発事業	計	(注) 1	算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	791, 295	196, 939	988, 234	_	988, 234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_		_
<b>≒</b>	791, 295	196, 939	988, 234	_	988, 234
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△30, 944	601	△30, 342	4, 630	△25, 712

- (注) 1. セグメント利益および損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去等によるものであります。
  - 2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

#### 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社グループは、単一の事業セグメントの売上高が、すべての事業セグメントの売上高の合計額の90%を超えるため記載を省略しておりましたが、それぞれの報告セグメントの量的重要性が増したため、報告セグメントを当中間連結会計期間より「プラスチック成形機事業」及び「システム開発事業」に変更しております。